

報告事項 5

「第7回神戸マラソン」応募状況等について

「第7回神戸マラソン」応募状況等について、以下のとおり報告する。

平成29年7月24日提出

神戸市教育委員会

教育長 雪村新之助

第7回神戸マラソンの応募状況等について

1 ランナー応募総数 75,048人（昨年度 75,097人）

〔内訳〕

※（ ）内は昨年度実績

種目	定員	応募総数 a	倍率	区分	人数	細区分	人数 b	組数	構成比 b/a	出走予定 人数
マラソン	20,000 (20,000)	75,048 (75,097)	3.75 (3.75)	個人	64,102 (63,245)		64,102 (63,245)		85.4% (84.2%)	17,060
				グループ	10,946 (11,852)	2人	7,454 (8,024)	3,727 (4,012)	9.9% (10.7%)	2,000
						3人	3,492 (3,828)	1,164 (1,276)	4.7% (5.1%)	940

〔主な特別枠の応募数〕

特別枠	応募総数	定員 対象者数	倍率	備考
神戸マラソン 応援ランナー枠	200	200	—	兵庫県、神戸市 各100人先着順
シード枠	333 (319)	426 (427)	78.17% (74.71%)	申込者は全員当選
年代別 チャレンジ枠	4,475 (4,381)	2,000 (2,000)	2.24 (2.19)	2,000人当選
キラキラ女子 ランナー枠	3,769 (3,583)	500 (500)	7.54 (7.17)	500人当選
神戸マラソン 初出場枠	30,478 (30,268)	2,000 (2,000)	15.24 (15.13)	2,000人当選

※被災地枠：東日本大震災被災地3県（宮城、岩手、福島）から339人、
熊本地震被災地から301人応募あり

※障がい者枠：281人

※海外居住者枠：1,313人

2 日程

- 4月3日 「神戸マラソン応援ランナー枠」のみ先着受付開始
- 4月6日 一般枠・特別枠の募集開始（～5月15日）
- 6月13日 抽選結果を応募者にEメールで通知
- 7月4日 当選者参加料入金締切

7月4日 海外居住枠募集締切

7月下旬 追加抽選の実施

8月上旬 追加抽選結果を当選者にEメールで通知

8月下旬 追加当選者の参加料入金締切

(～9月中旬、参加者の確定)

9月下旬 交通規制のお知らせ配布

10月中旬 参加案内の通知(大会ホームページに掲載)

10月下旬 横断幕・案内看板の設置

11月17・18日 参加受付(神戸国際展示場)

11月19日 第7回神戸マラソン

3 ボランティア応募状況

(1) 募集人数：7,500人(団体、個人の合計)

(2) 募集開始：団体4月21日～、個人5月19日～(いずれも先着順)

(3) 応募状況：7,535人

内訳(団体) 185団体 6,950人

(個人) 585人

第7回神戸マラソンの開催準備状況について

I 第7回大会の重点項目

1 マラソンランナー2万人に対応した安全・安心な大会運営の充実

(1) マラソンコースの一部変更 新規

ポートアイランド内の周回コースの距離を短縮し、ランナーの心理的負担を軽減する。

(2) ウェーブスタートの継続実施

「道幅が狭い」というランナーからの声がある中、スタート付近やコース沿道の混雑緩和を図り、定員2万人に対して、より安全で効率的な運営を行うため、時間差スタートを継続実施する。

(3) スタートブロック（第1ウェーブの細分化） 新規

スピードランナーグループを先頭に配置し、ランナーの安全を確保するとともに、記録の向上を狙う。

(4) ランナーサービスの充実

- ① コースの仮設トイレ各設置場所に洋式トイレを配置していく。
- ② 給水・給食の効果的な配置と数量を準備する。

(5) マナーアップの啓発

ウェーブスタート、折り返し地点についての留意事項・競技上のマナー等を、大会ホームページやE X P O等で積極的に啓発し、大会の質の向上を図る。

(6) 救護・警備体制の充実

① 重症事案への対応

競技中に発生する重症事案に迅速に対応するため、競技役員、ボランティア、救護スタッフ各々の役割分担の確認、相互連携を強化するとともに、コースの一部変更に対応した救護体制の充実を図る。

② 緊急時対応訓練

緊急時対応マニュアルを基に、災害や大事故、テロなどの発生、重症事案への対応を想定した初動体制の訓練を9月15日（金）に行い、大会関係者へ対応フローの周知徹底を図り、危機管理意識を高める。

2 3つの大会コンセプトの具現化

(1) チャレンジマインド [ランナーが自ら挑戦し続けるための取り組み]

① 神戸マラソン応援ランナー枠 新規

兵庫県または神戸市に10万円以上「ふるさと納税」をされた方に出走権を進呈

② シード枠

自己記録更新を目指すランナーを応援するため

③ 年代別チャレンジ枠

より多くの方にランニングを生涯のスポーツとしていただくため

④ キラキラ女子ランナー枠

マラソンへの参加で自分にチャレンジする女性ランナーを応援するため

⑤ 神戸マラソン初出場枠

神戸マラソンに初めてチャレンジするランナーを応援するため

⑥ 連続入賞者表彰制度

第6回大会以降、3年連続で総合または年代別8位までに入賞された方を表彰する（表彰は第8回大会から）

大会参加へのモチベーション向上を図るため、当制度を大会前に周知

(2) ホスピタリティマインド [大会の魅力化・ブランド化の促進]

神戸マラソン実行委員会構成団体、スポンサー等が実施するイベントとタイアップしたPRの実施により、大会当日に向け、一層の機運醸成を図る。

また、スポーツツーリズムの観点からも、神戸マラソンの個性化を図り魅力あるものにするため、兵庫・神戸の街の特性(ジャズ・スイーツ・グルメ・ファッションほか)を活かしたプログラムを継続して実施し、大会のブランド化に努める。

さらに、県・市の関係部局、外郭団体、国際・観光関係団体とも連携し、国内外に住む外国人へのPRにも努め、大会への参加を促進し、国際的な大会を目指す。

① 海外誘客対策

<従来からの継続事業>

- ・多言語字幕付PR動画を作成し、動画サイト「You Tube」で公開
- ・JSS会員向けの大会PRメールマガジンの配信
- ・関西国際空港での多言語募集パンフレットの配置による情報発信
- ・ゴールドコーストエアポートマラソンで大会PRブースを出展

<第7回大会からの新規事業>

- ・公式のInstagramを新設し、海外に向けて大会情報を発信
- ・海外のランニング専門誌「Distance Running」に大会エントリー情報を掲載
- ・日本政府観光局(JNTO)海外現地事務所等での大会情報の発信
- ・台湾、韓国、香港等での観光プロモーション等でのPRチラシの配布
- ・海外兵庫県人会を通じた大会情報の発信
- ・海外居住ランナーの応募を先着順とし、募集期間を7月4日までに延長し、応募時の同時入金対応、宿泊予約サイトの表示等を行い、応募方法を改善

※海外居住ランナー応募数：1,313人

② 「神戸マラソン・シリーズイベント」の認定

兵庫県内で実施される神戸マラソンのPR、開催機運の盛り上げに寄与する事業を公募し、内容審査の上、「神戸マラソン・シリーズイベント」として認定することで、当該事業とタイアップした大会PRを実施する。

- ・ イベント主体：神戸マラソン主催者、実行委員会構成団体、スポンサー等
- ・ 対象期間：10月1日から11月19日（大会当日）まで
- ・ 内容：認定イベント事業名称への「神戸マラソン・シリーズイベント」呼称の付記（イベント告知印刷物、看板類等）と、特典としての神戸マラソン大会ホームページ等での認定事業の紹介

③ ジャズイベント

ジャズ演奏による沿道応援の充実を図るとともに、「ジャズの街神戸」らしいおもてなしを行う。

④ 神戸スイーツの提供

兵庫・神戸ゆかりの洋菓子・和菓子をランナーへのおもてなしとして提供する。

⑤ グルメ広場

EXPOにグルメエリアを設置し、多彩なグルメブースを出展する。

⑥ おしゃれランナー賞

EXPOに「おしゃれランナーブース」を設置し、おしゃれランナー賞のエントリーを受け付け、「ファッション都市神戸」の魅力を発信する。

⑦ 絵手紙によるランナー応援

地元の小学生等による絵手紙メッセージカードをランナー全員へ贈る。

⑧ 海上からの応援

漁船及び神戸市消防艇等による応援放水などで大会を盛り上げる。

⑨ 地場産業との連携

ランナー等への真珠製品、淡路瓦製品、灘五郷の清酒等の提供をはじめ、兵庫・神戸の地場産業と連携した取り組みを続ける。

⑩ 被災地交流事業

スタートセレモニーにおいて、小学生・高校生による合唱を行うなどして、東日本大震災被災地等との交流を図る。

⑪ 神戸開港150年記念事業 新規

大会広報物（ポスター、募集パンフレット等）、ランナー配布物（参加賞Tシャツ、フィニッシャータオル等）に神戸開港150年記念のロゴを、完走メダルのリボンに神戸タータンデザインを使用する。

(3) ボランティアマインド [震災復興の教訓と感謝を国内外に発信]

① 感謝と友情のひまわり

スタートセレモニーにおいて、ランナー「2万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」と「しあわせ運べるように」の合唱を引き続き実施する。

さらに、震災復興の象徴である、ひまわりの花をイメージした黄色の手袋をボランティアや大会関係者、沿道応援者に配布するとともに、黄色の手作り応援グッズの自発的な作成をホームページ等で呼びかけ、コース沿道にひまわりが咲いているような一体感のある取り組み「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」を継続して実施する。

② 通訳ボランティアの募集

年々増加する海外からのランナーに対応するため、通訳（英語・中国語・韓国語）ボランティアを募集し、よりスムーズな運営を目指す。